

OS09-4 ワンストップ創薬研究・教育拠点の形成：京都大学の取り組み

○藤井 信孝¹

¹京大院薬

京都大学大学院薬学研究科では、21世紀COEプログラムおよびターゲットタンパク研究プログラム等の支援により、創薬研究およびケミカルバイオロジー研究の研究基盤として「ファーマコゲノミクス・ケモゲノミクス創薬コアラボ」を整備し、化合物ライブラリーの提供・創薬基礎研究の支援をはじめ、さまざまな学内外の研究室・研究機関との共同研究を展開してきた。

平成23年度より医学研究科をはじめとする生命科学系研究部局との連携により、京都大学の優れた生命科学研究から見出された創薬標的タンパク質や患者由来iPS細胞などを活用した医薬品候補化合物探索を支援する創薬拠点の整備を進めている。化合物ライブラリーからシーズ化合物を見出し、構造最適化研究・結合様式解析などの基礎研究・非臨床試験を経て、医学部附属病院探索医療センターにおける小規模臨床研究、さらには関連病院による臨床治験に至るまで、ワンストップで実施できる総合創薬研究開発体制の確立を目指す。また、本拠点コアラボを学内外の研究者に広く開放して、産官学横断型のオープンイノベーション創薬ネットワークの中核として機能させるとともに、参画研究者が中心となって創薬に関する実践的な大学院教育・人材育成コースを開講し、次世代の創薬研究リーダーを養成する。